

総務教育常任委員会資料

(平成24年2月22日)

【 件 名 】

- 1 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について（教育環境課）…………… 1
- 2 今後の県立高等学校の在り方に関する基本方針（案）（平成25年度～平成30年度）
に係るパブリックコメントの実施等について（高等学校課）…………… 2
- 3 文化財の県指定について（文化財課）…………… 8

教 育 委 員 会

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

平成24年2月22日
教育環境課

【変更分】

工 事 名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工 期	契約年月日	摘 要
県立倉吉東高等学校管理特別 教室棟耐震改修工事（建築）	倉吉市下田中 町	株式会社井中組	契約金額 150,150,000円を 157,367,700円 (7,217,700円 増額)に改める。	平成23年6月17日～ 平成24年2月15日 (変更なし)	平成24年2月2日 (第1回変更)	(変更理由) 外壁改修等の追加を行っ たため。
県立倉吉農業高等学校管理教 室棟耐震改修工事（建築）	倉吉市大谷	有限会社共栄組	契約金額 127,260,000円を 136,999,800円 (9,739,800円 増額)に改める。	平成23年7月1日～ 平成24年3月9日 (変更なし)	平成24年2月2日 (第1回変更)	(変更理由) 間仕切、外壁改修等の追 加を行ったため。

今後の県立高等学校の在り方に関する基本方針（案）（平成25年度～平成30年度）
に係るパブリックコメントの実施等について

平成24年2月22日
高等学校課

「今後の県立高等学校の在り方に関する基本方針（案）（平成25年度～平成30年度）」について、以下のとおり、パブリックコメントを実施するとともに、鳥取県教育審議会の結果について報告します。

1 パブリックコメントの実施

1 実施時期

平成24年2月27日（月）～平成24年3月23日（金） 約1ヶ月

2 パブリックコメントの概要

(1) 意見聴取内容

項目	内容
①生徒減への対応	・平成30年度までに8学級程度の学級減を行い、現在の学校数は維持する
②特色ある学科・コースの編成	・特色ある学科やコースなどを編成する （環境エネルギーの分野、福祉の分野、文化芸術の分野） ・総合学科など既存の学科やコースの検証を行う
③地域と連携した教育の推進	・中山間地域の学校など、地域と連携した特色ある学校づくりで活性化を図る

※別添パブリックコメントのチラシ参照

(2) 応募方法

郵送、ファクシミリ、電子メール、意見箱への投稿（高等学校課、県民課、各総合事務所、県立図書館、各市町村役場に設置予定）

3 今後のスケジュール（予定）

日程	内容
▼2月27日（月） ～3月23日（金）	パブリックコメント実施
▼3月下旬～4月上旬	県民から寄せられたコメントに対する対応案検討
▼4月中	定例教育委員会でパブリックコメントの結果を報告 " で基本方針（案）の修正案を協議 総務教育常任委員会でパブリックコメントの結果を報告
▼5月中	定例教育委員会議案で基本方針（案）を附議

II 鳥取県教育審議会の結果

1 日時、場所、参加者及び議事

日時	平成24年1月25日(水) 午後2時～午後4時
場所	ホープスターとっとり
参加者	審議会委員：21人
議事	今後の県立高等学校の在り方(平成25年度～平成30年度)について

2 委員からの主な意見

①生徒減への対応

- ✓ 生徒減少には、まず学級減を行い、限界を超えた場合にのみ学校数を減らすのが適切である。
- ✓ 高校は地域にとって財産であり、学校を廃止することは避けて、学級減で対応するのが望ましい。
- ✓ 一人一人の生徒にきめ細かい指導が可能となる授業展開を行うなど、教育効果を高めるために、学級定員減で対応するのが適切である。
- ✓ 生徒減少の中で、学級数を減らした結果として4学級以下の学校があってもやむをえない。しかし、募集定員を満たさないからといって一律に学級減を行うのではなく、学校の特色や教育理念が確立され、学校運営上の条件整備が施された上で行うべきである。

②特色ある学科やコースの編成

- ✓ 新設する専門学科が、卒業後に大学等へ進まなければ就職できないというように、直接就職につながる学科ならば、設置の意義は低くなるので、新設には慎重であるべきだ。
- ✓ 専門学科は専門科目を学ぶ学科であるが、その学習には基礎学力が必要であることから、基礎学力も身につける教育課程の検討が望まれる。
- ✓ 新しい学科・コースの編成を考えるのであれば、「どんな人材を育成するのか」という観点に基づいて、既存の学科の枠にとらわれず、地域性も考慮しながら編成するという在り方も検討するべきである。

③地域と連携した教育の推進

- ✓ 中山間地域の学校に限らず、学校運営や学校の特色づくりの議論を地域の特色とリンクして進めるべきである。
- ✓ 鳥取県の中山間地域には水と緑の豊かな場所が多いが、その資源をどう活用するかが課題であり、そうした活用法とからめて学校づくりを考える必要がある。
- ✓ 学校が所在する地域の祭りや伝統行事への参加を学校行事に位置づけ、自治体と一体となって実施するなど、地域との深い結びつきのある学校づくりを考える必要がある。

今後の県立高等学校の在り方に関する基本方針(案)について、ご意見をお寄せください。

1 趣 旨

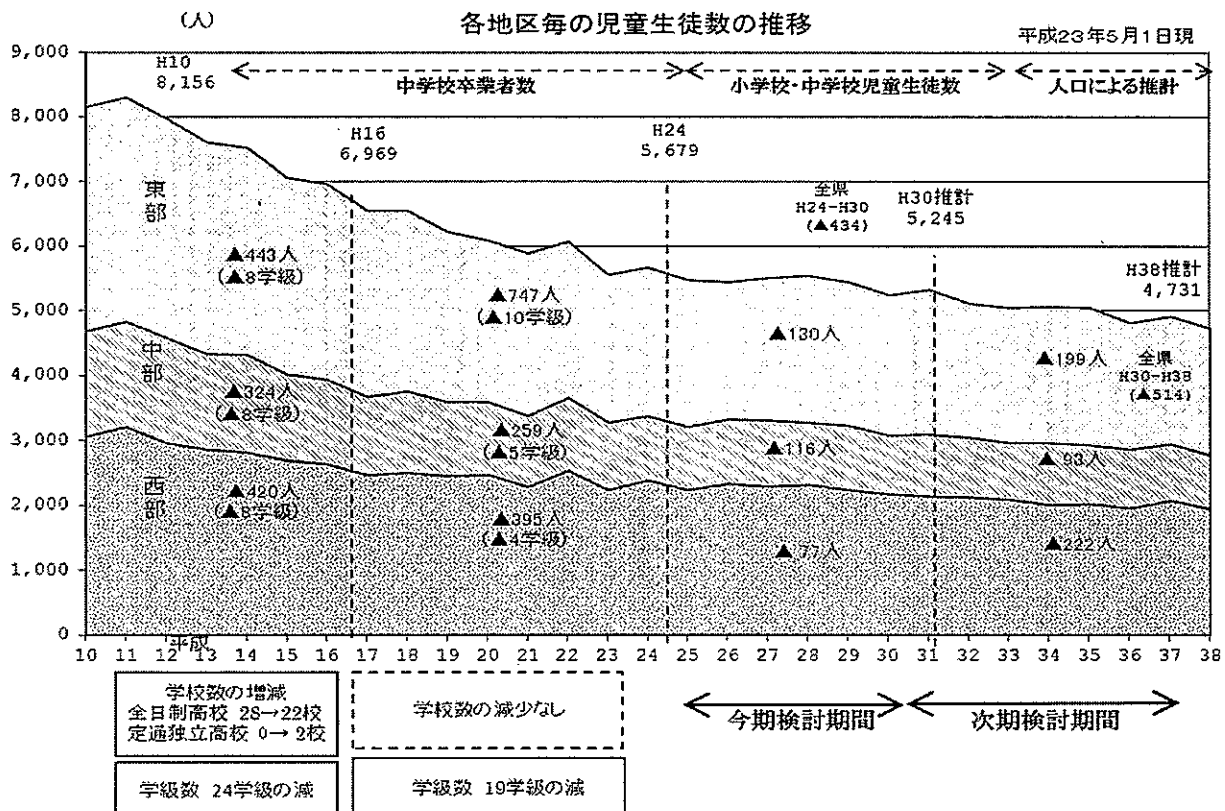
鳥取県教育委員会では、平成12年度以降、大幅な生徒数の減少や社会の変化への対応などを背景として、学校の統廃合や学級減、新しい学科・コースの設置など、大規模な高校教育改革を進めてきました。

しかし、今後も県内の生徒の数が大幅に減っていくことが見込まれています。このような中でも、学校・家庭・地域と連携しながら、魅力のある学校や特色のある教育内容を作り上げていくことが必要です。

鳥取県教育委員会では、今後の県立高等学校の在り方について、学校や関係機関の意見を聞きながら検討を行ってきましたが、このたび、次の①～③の内容を中心に、今後の県立高等学校の在り方に関する基本方針(案)(平成25年度～平成30年度)をまとめましたので、これについて皆様のご意見をお聞かせください。

- ①生徒減への対応 ②特色ある学科・コースの編成 ③地域と連携した教育の推進

◆今後の県立高等学校の在り方に関する基本方針(案)は、高等学校課のホームページに掲載しています。
(<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=76399>)



2 今後の県立高等学校の在り方に関する基本方針(案)の概要

① 生徒減への対応

平成30年度までに、県内の中学校卒業生数が400人程度減少することが見込まれています。そこで、県立高校では8学級程度の学級減を行いますが、今の学校数は維持します。

(計画期間中の学級減の予定)

年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30
削減学級数						

② 特色ある学科コースの編成

➤ 環境エネルギーの分野

鳥取県では、次世代電力供給システム（スマートグリッド）社会の構築など、エネルギーシフトに向けた取組を進めていくこととしています。

スマートグリッドとは、情報技術（IT）を活用して、風力発電など再生可能なエネルギーを含む電力の流れを、供給する側、需要する側の双方からコントロールし、最適な状態を作っていくシステムです。

今後、世界的に推進されていくシステムで、産業界や地域からも大きな期待がかけられており、このような社会に対応できる、電気、制御、工業化学の知識を持った人材を育てるための学科やコースなどを編成します。

➤ 福祉の分野

今後、ますます少子高齢化が進むと予想されています。このような中で、誰もが満足できる生活環境で暮らせる福祉社会の実現が求められています。

そのためには、高校段階で福祉への理解や関心を深めたり、将来の職業として福祉関係の仕事内容を学べるような場が必要となります。

そこで、幼児、老人、障がい者などを対象とする幅広く福祉について学ぶような学科やコースなどを編成します。

➤ 文化芸術の分野

鳥取県には、古くから受け継がれてきた伝統と個性のある芸術や文化があり、また、まんがやアニメーションのメディア芸術など、新しい文化を創造する土壌もあります。

文化や芸術を創造したり、文化芸術活動を支えたり発展させたりする人材を育成するために、まんがを含むメディア芸術などの文化芸術分野を学ぶような学科やコースなどを編成します。

➤ 既存の学科など

総合学科など既存の学科やコースなどについて、その成果や課題の検証を行い、必要な見直しを行っていきます。

[全日制高校の規模（平成24年度募集学級数）]

	3学級	4学級	5学級	7学級	8学級	計
普通科	岩美	倉吉西、 鳥取中央育英	倉吉東、境	八頭	鳥取東、鳥取西、 米子東、米子西	10校
専門学科	智頭農林、 倉吉農業	米子南	鳥取商業、鳥取工業、 鳥取湖陵、倉吉総合産業、 米子工業、境港総合技術			9校
総合学科	日野	青谷、米子				3校
計	4校	5校	8校	1校	4校	22校

タイプ	学 科 名
普通科系学科	普通学科、理数学科、理数工学科
専門学科	農業学科、工業学科、商業学科、水産学科、家庭学科、情報学科、福祉学科
その他の学科	総合学科

③
地域と連携
した教育
の推進

本県の中山間地域にある高等学校では、生徒数の減少に伴い、入学者が募集定員を満たしていない学校もあり、このまま学校の小規模化が進めば、将来的に学校の存続が危うくなることも考えられます。

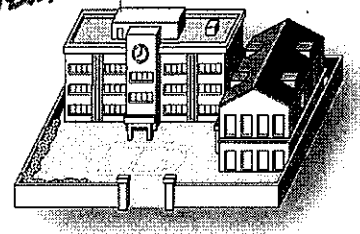
他県では、地域と連携した特色のある取組を行うことで、入学希望者が増え、学校や地域の活性化が図られているような例もあります。

今後も生徒数が減少する中で、地域と連携した特色のある学校づくりを進めるとともに、地元市町村教育委員会と連携した小・中・高一貫教育校の設置や、隣県自治体と連携した新しい運営形態の高等学校づくりなどについても、幅広く検討していきます。

3 募集期限

平成24年3月23日(金)まで

みんなで描こう!!
活力と魅力ある高校未来像!!



4 ご意見の提出方法等

- (1) 応募・問合せ先 鳥取県教育委員会事務局高等学校課 電話:0857-26-7517
- (2) 提出方法 次のいずれかでお願いします。
 ○ 郵 送 :〒680-8570(住所記載不要、郵便番号のみで届きます。)
 ○ ファクシミリ :0857-26-0408
 ○ 電子メール :koutougakkou@pref.tottori.jp
 ○ 意見箱への投稿など :高等学校課、県民課、各総合事務所県民局、県立図書館に設置している意見箱へ投函してください。また、市町村役場の窓口でも応募できます。
- (3) 今後の県立高等学校の在り方に関する基本方針(案)(平成25年度～平成30年度)の閲覧方法
 高等学校課のホームページに掲載しています。また、県庁県民課、各総合事務所県民局及び県立図書館でも閲覧できます。(http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=76399)
- (4) 結果等の公表 後日、応募いただいたご意見とそれに対する対応方針を公表します。



「今後の県立高等学校の在り方に関する基本方針(案)
(平成25年度～平成30年度)」についてのご意見

《各設問の区分欄の該当する□にチェックしていただき(☑、■など)、その理由・ご意見を記入してください》

① 「生徒減への対応」へのご意見

区 分	<input type="checkbox"/> 賛 成	<input type="checkbox"/> どちらかといえば賛成	<input type="checkbox"/> どちらかといえば反対	<input type="checkbox"/> 反 対
理由・ ご意見				

② 「特色ある学科・コースの編成」へのご意見

【環境エネルギーの分野】

区 分	<input type="checkbox"/> 賛 成	<input type="checkbox"/> どちらかといえば賛成	<input type="checkbox"/> どちらかといえば反対	<input type="checkbox"/> 反 対
理由・ ご意見				

【福祉の分野】

区 分	<input type="checkbox"/> 賛 成	<input type="checkbox"/> どちらかといえば賛成	<input type="checkbox"/> どちらかといえば反対	<input type="checkbox"/> 反 対
理由・ ご意見				

【文化芸術の分野】

区 分	<input type="checkbox"/> 賛 成	<input type="checkbox"/> どちらかといえば賛成	<input type="checkbox"/> どちらかといえば反対	<input type="checkbox"/> 反 対
理由・ ご意見				

【既存の学科など】

--

③ 「地域と連携した教育の推進」へのご意見

--

■ その他、鳥取県の高校教育全般についてご意見があれば、ご自由にお書きください。

※ご意見ありがとうございました。差し支えなければ、下記もご記入をお願いします。

(お住まいの市町村名)		
(年代)	歳代	(性別)

文化財の県指定について

平成24年2月22日
文化財課

鳥取県文化財保護審議会において、下記の文化財を鳥取県保護文化財、鳥取県無形文化財及び鳥取県無形民俗文化財に指定（無形文化財については指定及び保持者の認定）するよう答申があり、平成24年2月9日に開催された2月定例教育委員会において鳥取県保護文化財、鳥取県無形文化財及び鳥取県無形民俗文化財に指定することが決定されました。

記

【指定】鳥取県保護文化財

名 称	員数	所在地
けんぼんちやくしよく あずまくだ こうさく くさばなず 絹本著色 東下り・耕作図・草花図	5幅	鳥取市

<指定理由>

鳥取藩の御用絵師であった沖一峨の作品。「伊勢物語」第九段「東下り」を中幅とし、脇に田植えと収穫を描く春秋の耕作図双幅と草花図双幅を揃える五幅対として伝来した。

狩野派の図様と筆法に従って手堅くまとめられた「東下り図」、洋風画から学んだと思われる自然な遠近表現を巧みに用いた「耕作図」、酒井抱一に学んだ江戸琳派風の「草花図」など、五幅対という規模の大きさとともに、様々な流派の技法が披露されている点も興味深く、高く評価される作例である。



草花図秋

耕作図秋

中幅：東下り

耕作図春

草花図春

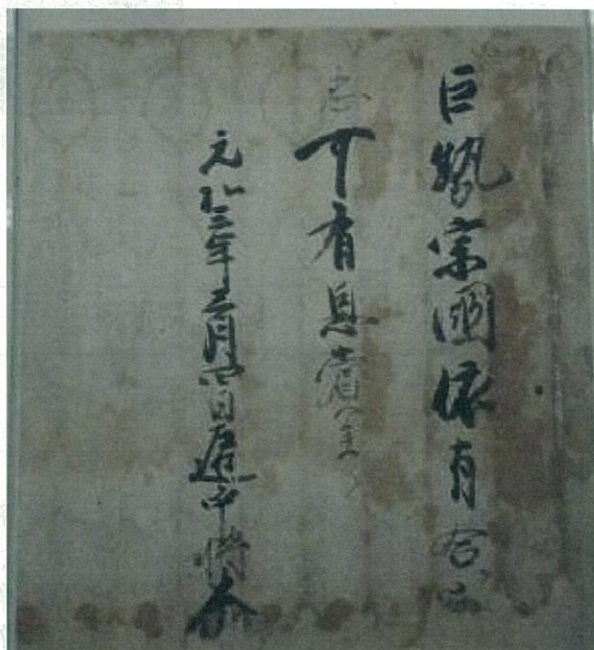
【指定】鳥取県保護文化財

名称	員数	所在地
あいみけもんじょ 相見家文書	8通	鳥取市

<指定理由>

米子市八幡の相見家に伝来した南北朝期中世文書。後醍醐天皇^{りんじ}綸旨を含む8通からなり、巨勢氏（相見氏）への恩賞、あるいは相見氏が神主をつとめる八幡宮への土地の寄進等に関する内容となっている。特に元弘3（1333）年の後醍醐天皇綸旨は、隠岐を脱出した後醍醐天皇が船上から発給したもので、左近中将（千種忠顕）の名前で書かれているが、筆跡等から天皇の自筆であることがわかる珍しいものである。

後醍醐天皇の動向や相見氏の南北朝期から室町期にかけての動向をうかがわせるものであり、また伯耆守護研究にとっても重要な内容を含んでいることから、鳥取県の中世史研究上、極めて貴重な資料といえる。



相見家文書 後醍醐天皇綸旨（複製）

【指定及び保持者の認定】鳥取県無形文化財

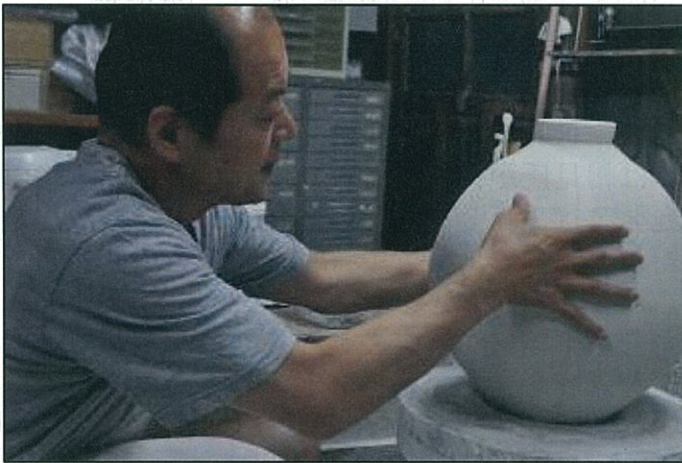
無形文化財の名称	無形文化財の保持者	
	氏名	住所
とうげい 陶芸	まえたあきひろ 前田昭博	鳥取市河原町本鹿

<指定及び認定理由>

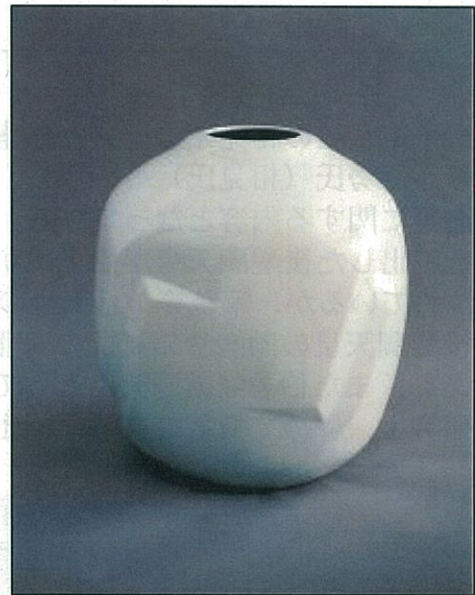
陶芸とは、いわゆる陶磁器を作る技術の総称で、主原料の配分、轆轤や手びねりなどの成形方法、焼成方法、釉薬や絵付などの加飾技法などにより、様々な種類に分類される。鳥取県内では現在30軒近くの窯元が存在しており、なかでも保持者として挙げる前田昭博氏は特に高い評価を受けている。

前田氏は、白磁を主とする陶芸の技術に習熟し、壺を中心にさまざまな形態の白磁の器を制作。確かな轆轤技術による成形と、指先や手のひらで丹念に面取を施すことで生

まれる稜線のフォルム、しっとりとした吸い付くような温かみのある釉調は、光と影の造形などと評され、芸術上特に価値の高い制作といえる。また、磁器ならではの造形、表現を模索する創作姿勢は、工芸史上においても重要な位置を占めている。



制作風景（面取）



白瓷面取壺 1991 鳥取県立博物館所蔵

【指定】鳥取県無形民俗文化財

名称	所在地	保護団体
だいせん しんじ 大山のもひとり神事	大山町大山	大神山神社奥宮

＜指定理由＞

毎年7月14日、15日に大山で行われる神事。14日に大神山神社奥宮で夕祭が行われた後、15日深夜1時半の派遣祭を経て大山山頂へ向かい、頂上付近の石室で神祭執行後、霊水と薬草を採取する。江戸時代は、大山寺により写経と経筒埋納を伴う弥山禅定として行われていたが、廃仏毀釈を受けて現在の大神山神社奥宮を主体とする形に変わった。

大山山頂で霊水と薬草を採取することから大山の原初信仰を残している点、また、廃仏毀釈という大きな変化を受けながらも行事が続けられている点で、貴重な無形民俗文化財といえる。



霊水採取



霊水と薬草を背負い下山

参考：鳥取県の国・県指定文化財の件数 - () 内は今回の答申件数であり外数

県内	県指定文化財		国指定文化財	
		246 (4)		116
	保護文化財	118 (2)	国宝・重要文化財	55
	絵画	14 (1)	絵画	3
	古文書	3 (1)	古文書	0
	彫刻	41 (0)	彫刻	18
	工芸品	14 (0)	工芸品	5
	書跡	0 (0)	書跡	1
	考古資料	20 (0)	考古資料	11
	歴史資料	2 (0)	歴史資料	0
	建造物	19 (0)	建造物	17
	工芸・考古資料	4 (0)	工芸・考古資料	0
	彫刻・建造物	1 (0)	彫刻・建造物	0
	史跡	18 (0)	特別史跡・史跡	31
	名勝	7 (0)	名勝	4
	名勝・史跡	0 (0)	名勝・史跡	1
	名勝・天然記念物	0 (0)	名勝・天然記念物	1
	天然記念物	53 (0)	特別天然記念物・天然記念物	19
	有形民俗文化財	3 (0)	重要有形民俗文化財	1
	無形民俗文化財	39 (1)	重要無形民俗文化財	3
	無形文化財保持者・団体	7 (1)	重要無形文化財保持者・団体	0
	伝統的建造物群保存地区	1 (0)	重要伝統的建造物群保存地区	1

※無形文化財の指定状況は以下のとおり

- ・因州佐治みつまた紙 (保持団体：1団体)
- ・因州青谷こうぞ紙 (保持団体：1団体)
- ・弓浜緋 (保持団体：1団体)
- ・木工芸 (保持者：2名)
- ・緋 (保持者：2名)

保護文化財			重要文化財			
鳥取市	94 (2)	絵画	11 (1)	絵画	1	
		古文書	2 (1)	古文書	0	
無形文化財			重要無形文化財			
鳥取市	2 (1)	保持者・団体	2 (1)	0	保持者・団体	0
無形民俗文化財			重要無形民俗文化財			
大山町	0 (1)			0		